



ふれあい

2024年7月
現在の会員数
男性 1,395名
女性 759名
合計 2,154名

2024年/7月
182号

題字 府中市長 高野律雄 書

公益社団法人府中市シルバー人材センター発行/東京都府中市府中町1-30 ふれあい会館1F/TEL042-366-2322



第75回定時社員総会開催



自転車競技大会 個人部の入賞者と松井会長

●目次

- 令和6年度第75回定時社員総会 2
- 会長・副会長・新理事あいさつ 3
- 令和6年度会員表彰者 4
- 生涯現役! 輝くシルバーさん 4
- 多摩川清掃・新入会員研修会 5
- 働く会員の職場訪問(草刈機械整備班) 6
- 頑張っています! 元気な班長さん 6
- 第30~33回KSK写真コンテスト 7
- 自転車競技大会 8
- 地域班長会議の開催 8
- 行事予定・訃報・編集後記 8

令和6年度 第75回定時社員総会

6月20日(木)午後1時から、府中市市民活動センター・プラッツの「バルトホール」において第75回定時社員総会が開催されました。

初めに、松井等会長から、第4次中期計画の1年目の進捗状況、今秋に施行されるフリーランス新法に伴う就業時の事務処理について準備中、との報告がありました。また、就業機会の開拓と提供、契約継続の維持に努める旨が言及されました。



さらに、会員に安全・健康対策のお願いがありました。

その後、来賓の浅野府中市副市長から高野市長の挨拶の代読があり、続いて手塚府中市議会議長、小山東京都

議会議員から挨拶をいただきました。壇場には、そなえ府中市議会副議長、西村市議会厚生委員長も臨席されました。

次に、会員表彰に移り、120か月以上就業の会員58名を代表して、橋本正之さん、金子光枝さんに、会長から表彰状と記念品が授与されました。議事に先立ち、関根常務理事から定足数の報告がありました。総会当日の会員数2,141名うち、当日出席92名、委任状提出者1,622名、議決権行使書提出者11名、合計1,725名(会員数の80%)となり、総会の成立に必要な定員数の2分の1を超え、本総会は有効に成立しました。

続いて、大倉理事が議長に選任され、議事が始まりました。

最初に、橋本監事から監事報告があり、「本総会は、関係法令及び定款に反する事実はなく、事業実施報告・提案議案・監査報告等が法令及び定款等に反していない」と報告されました。その後、見附理事から令和5年度の事業報告がなされ、報告が承認されました。

引続き、次のとおり議案審議が行



われ、質問又は意見等もなく、すべて承認されました。

第1号議案

「令和5年度の計算書類等の承認の件」は、相澤理事から説明の後、採決に入りました。

第2号議案

「理事1名選任の件」は、松井会長からの説明の後、採決に入りました。

第3号議案

「監事1名選任の件」は、松井会長からの説明の後、採決に入りました。

第4号議案

「役員報酬等及び費用に関する規定の一部改正の件」は、清水

理事から説明の後、採決に入りました。

以上により、全ての議事が終了し、第75回定時社員総会は滞りなく閉会となりました。

第2回臨時理事会

6月20日(木)、定時社員総会の終了後、役員人事案件を議題に、第2回臨時理事会が開催されました。

議事1

「副会長の選任について」

渋谷副会長が、第75回定時社員総会の終結の時をもって理事を辞任したため、後任の副会長として萩原理事が選任され、承認されました。

議事2

「委員会等の選任及び理事の役割分担について」

業務委員会委員が1名欠員となるため、新任の鈴木理事が選任され、承認されました。

また、委員会、検討委員会の構成(業務委員会以外は令和5年度と同じ)が提案され、承認されました。

会長あいさつ



会長

松井 等

去る6月20日(木)、第75回定時

社員総会が市民活動センタープラッツのバルトホールで開催されました。浅野以千郎府中市副市長、手塚としひさ府中市議会議長、小山くにひこ東京都議会議員のご臨席を賜り、また多くの会員のご出席をいただき無事終了することができました。会員の皆様のご協力に感謝いたします。

令和6年度は「第4次中期計画」の2年目となります。令和9年までの5年間の目標を達成できるよう、積極的な事業展開が必要となっております。

また、センターを取り巻く環境が大きく変化しており、昨年のインボイス制度を始め、今年11月施行のフリーランス・事業者間取引適正化等法により、就業にあたり新たな事務処理が発生することとなります。これらが円滑に進められるよう、役員と事務局が一丸となって対応してまいります。

今後、会員増加に対応するための就業機会の拡大、公益法人としてのボランティア活動、女性会員増強と会員相互の親睦を深めるための活動等を推進してまいります。

そして何より、安全は最優先事項です。一人ひとりが事故に対する危機感を持ち、酷暑の夏を熱中症にならないように乗り切っていたきたいと思えます。

会員の皆様の益々のご健康と、ご活躍をお祈り申し上げます。

副会長就任あいさつ



副会長

萩原 信

このたび、第75回定時社員総会後

の臨時理事会において、図らずも副会長の重任を拝しました。責務の重さに、身の引き締まる思いでおります。

私は、平成28年に入会しました。

これまで、施設管理業務や府中市放課後子ども教室事業に携わり、様々な方と出会い、お世話になりました。楽しく有意義に日々を過ごせたことは、シルバー人材センターのお陰と感謝しています。

お世話になったセンターに、少しでも恩返しできればと、私には荷が重いのですが、副会長を引き受けさせていただきました。

今日、センターを取り巻く環境は大きな転換期を迎えております。令和5年10月より導入されたインボイス制度をはじめ、令和6年11月に施行予定のフリーランス・事業者間取引適正化等法など、センターの未来を見据えて対応すべき問題が山積しています。

会員の皆様と役員、事務局と力を合わせ、センター発展のため粉骨砕身努力する所存でございます。

松井会長を支え、会員皆様のため少しでもお役に立てるよう精進してまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

理事就任あいさつ



鈴木 徹

生まれ故郷より長い期間生活し、お世話に

なっている府中に恩返しができないかと考えました。

シルバーでの活動も5年となり、その活動の中で自身が出来ることが

何かと考えたとき、高齢者と社会をつなぐパイプ役になることではないかと思ひ至りました。

業務委員として、この1年就業先の訪問、公募採用面接等により、多くの会員の皆様の貴重なご意見を承りました。また、自身の就業先での仲間の皆さんとのチーム活動、市民の皆様との触れ合い等、シルバーならではの貴重な体験をしてまいりました。

今後も、皆様のご意見を組み入れ、会員が就業、ボランティア活動を通じ社会との絆を強め、健康で生きがいをもった生活が送れるよう環境を創ってまいりたいと考えます。未熟ではありますが、精一杯頑張っております。ご指導よろしくお願ひいたします。



令和6年度会員表彰者(敬称略)

1 東京しごと財団表彰

センター役員として3期又は5年以上の者

渋谷 彰

2 役員表彰

センター役員として継続2期以上

渋谷 彰

3 会員表彰

会員として120月以上就業した者

- 秋田 勝丸 佐藤 佐俊
- 秋田 芳子 佐野 澄子
- 朝倉 藤治郎 篠田 省介
- 阿部 アツ子 菖蒲 宏朔
- 天野 恵 榛葉 敬司
- 石川 徳敬 杉 健次
- 伊東 俊夫 杉澤 一恵
- 宇津野 正 関 政義
- 梅田 勲 勢能 俊一
- 遠藤 美智穂 高井 謹吾
- 大滝 雄治 瀧田 義昭
- 大沼 勉 田中 睦
- 大野 充彦 永井 麻子
- 大森 正 中込 弘
- 小木曾 健二 中村 和子
- 小野 勉 中村 満磨
- 小野 正義 中山 茂
- 金子 光枝 中山 節子
- 鴨下 信太郎 成田 勇二
- 木立 ミツエ 西山 建夫
- 車尾 敏夫 橋本 正之
- 軍司 秀夫 林 良雄
- 小林 幸吉 原 伸吉
- 斎藤 博 原 省二
- 坂本 純子 平賀 伴孝



- 福田 昭弘 村岡 幸雄
- 朴 在俊 鐘水 和夫
- 本田 洋子 渡部 隆
- 松本 幸子 58名 (敬称略)
- 緑川 孝

生涯現役！輝くシルバーさん(28)



会員表彰者 橋本 正之さん

私は、平成23年6月に70歳でセンターに入会しました。

当初は市内の公園を巡回する公園パトロール業務に、その後は幼稚園でのサンタクロースに扮する仕事や、お助け隊員として就業しました。

その後、就業開拓員として新規業務の開拓をしていく中で、府中市放課後子ども教室「けやきッズ」に出会いました。府中市の担当課と事務局職員による折衝を繰り返し、平成27年から四谷小学校の業務を受託することができました。翌年には本宿小・若松小を、平成29年には第一小学校の業務を順次受託することとなりました。

現在では、40名ほどの会員がそれぞれの学校で、児童が安全で楽しく遊んで学べるよう、見守りと支援を行っています。

センターの就業拡大のためにも、今後も複数校の受託ができるよう、期待しています。



会員表彰者 金子 光枝さん

私は現在、86歳です。「よくぞここまで生きられた」と思うほど色々なことがありました。

生まれた時は未熟児の如く極小で、6歳のとき戦災で家を失い、10歳で高所から転落し腰椎を損傷し、その後も肋膜炎を患うなど、病院通いの多い小学生でした。

中学校でモダンダンスを始めて体力がつき、高校3年生で日本舞踊に転向し人生が変わりました。

入門した師匠の熱い勧めで名取となり、78歳まで踊り続けました。一方、踊りと並行して会社勤めをしていたのですが、75歳のときに会社が倒産するという憂き目に遭いました。途方に暮れていた折に市報でセンターの存在を知り、入会することにしました。

入会后、2か所の就業先で清掃の仕事をしながら、同時に健康な生活もいただいています。

この年齢で働くことができる幸福に日々感謝しつつ、これからも頑張っていきたいと思っています。

多摩川ボランティア清掃に
シルバーを挙げて参加

4月13日(日)、午前9時から、府中市主催による、「第51回多摩川清掃市民運動」が多摩川河川敷で開催され、当センターからは会員の57名が参加しました。

市のホームページや広報等により、「多摩川の自然に親しみ、自治会・企業・市民の親睦を図り、多摩川をよりきれいにするため、多くの方のご参加をお待ちしております」との呼びかけがありました。

清掃に先立ち、松井会長から多摩川ボランティア清掃への参加の謝意、



皆様の作業中の体調管理と不慮の事故防止等について、あいさつがありました。続いて、田中地域委員長から、収集ごみの最終処理方法や本日のタイムスケジュール等の説明がありました。

当日は、晴天に恵まれ、川風を受けながら老若男女がトンゴとごみ袋を両手に持ち、缶、ペットボトル、ガラス破片など、大小さまざまなごみを拾い、参加者は心地よい汗をかきました。

この日は、市民2,753名が参加され、ごみ収集量は2,200kg(前回比1,020kgの増)だった、と報道発表がありました。

初の「シルバークリーンデー」
雨天で中止となる

当センターでは、「市内全域で一斉に活動する『ボランティアの日』を設定し、センターの認知度を高めるため、4月24日(水)に市内の京王線の4駅周辺で、「シルバークリーンデー」を実施する計画を進めてきました。しかし、あいにくの雨天で中止となりました。秋(10月23日)に、地域貢献活動の一斉実施を計画してまいりますので、会員の皆様の積極的なご協力をお願いします。

新入会員研修会を開催



5月21日(火)午前10時から、1〜3月の新入会員の43名を対象とした「新入会員研修会」がふれあい会館で開催されました。

出席者は27名でした。

冒頭に、佐藤総務委員長から開会あいさつがありました。当センターの現状を会員数、事業実績(都内58センターのうち15位)、公民比などを説明し、センターの信頼確保のために会員は十分に留意してほしいと要請しました。

そのあと、港区シルバー人材センターの専任講師・新妻扶美恵さん、竹居由紀子さんによる就業マナーの講演が1時間半ありました。

講演内容は、接遇の基本、会員コミュニケーション、個人情報保護と守秘義務、ハラスメントです。

新妻講師は①感謝の気持ちを持つ、仕事を進めると仕事が楽しくなる ②電話対応ではメモを取る ③クレーム対応では、感情的になら

ずに平常心で対応する。ゆっくり全部を聞いてあげることが大事などと話されました。

次に、竹居講師は①個人情報住所、名前、病状、資産など、個人が特定できるもので、本人から取得し利用目的の範囲内で利用する ②あるセンターでは名簿が外で飛散し、皆さんの管理と言われた ③守秘義務では、電車内、居酒屋で話したことが漏れるので気をつけて ④高齢者はハラスメントに弱い、自分で気付かないうちにハラスメントになった などと注意がありました。

その後、小グループによる事例討議があり、7つのグループから討議結果が発表され、講師からお褒めの言葉をいただきました。

今後も節目節目に新入会員の研修を行いますので、対象者は必ずご出席をお願いします。



働く会員の職場訪問

「草刈機械整備班」

小柳町の府中市現業事務所内にある「草刈機械整備班」を、5月に訪ねてお話を伺いました。



浅田班長、中野さん、狩野さん、紅さん、市川さんの5名でローテーションを組み、活動されています。

9時～15時まで、1か月15日位の就業です。1年を通して忙しくしていますが、冬期は閑散期になります。

修理整備する機械は、草刈機11台のほか、刈払機、ブローなど数種類の機械が50台程あります。依頼された場所への、機械の搬入と引き揚げ作業もあります。

過去8か月間の実績として、約350回の作業を行っています。現状5名のメンバーで、全ての作業をこなしています。人材不足が課題となっていて、機械いじりが好きな方の募集をしています。

職場では、初心者が就業したときにスムーズに作業ができるよう、マニュアル、点検シート、行程表などを作成し、働きやすい環境を整える工夫をしています。また、シルバーの他の就業現場と互いの協力やネットワークがあり、相互に良好な関係にあります。

一番大事なことは、全てにおいて安全作業、安全運転の励行を、各自が自覚し実行しています。

最後に、「仕事を通して楽しいことや嬉しいことはありますか」とお尋ねしました。

好きな機械について共通の話ができること、仕事をしていることでいつまでも若々しくいられること、などの回答がありました。



職場の雰囲気良さ、チームワークの良さで、班の作業が正確に、確実に行われている印象を強く受けました。

元気な班長さん 第3回
◆ 片町地区 ◆



豊美和さん

されやすいと考えたからです。

「あつ、配ってくださっているのね。ありがとう」の声が届みになり、「これをちょっと聞いてもいい？」と交流の輪が広がりました。

久しぶりに「地域懇談会」の準備があり、地区委員と相談して案内をお手紙風にして配布したところ、「参加の意思がある」が少数みられました。この貴重な経験で、努力すれば会員をまとめるという班長の仕事やれそうです。

懇談会当日は、シルバーの定年についての質疑などがあり、秋に実施したら参加者が増えるかも、などの反省も生まれました。

班長が女性であることを気にしたことはなく、役割分担などで男性陣に気を遣っていたが、とても感謝しています。班長が配布するメール便が目され、地域懇談会の準備を通じ班長の動きが見えたので、微力ながらも班長の仕事は重要だと思えます。

シルバーに入会して6年です。以前の班長さんと、メール便のときにご挨拶をしていたので、班長の仕事はある程度知っていました。

2年ほどして、事務局から「班長をお願いしたい」と困った様子で依頼がありました。この声掛けに困ったなと思いつつ、「ちょっとお助けができるかな」との気持ちになりました。つなぎ役でメール便の配布ならばやれそう、で、「班長が見つかるまでのつなぎをやります」と即決しました。

担当地区が団地なので、配布は集合ポストを利用し、メールはクリアファイルに入れて投函します。これだと入れやすく、注目

KSK(会員就業・交流事業検討会)
写真コンテスト入賞作品の発表

写真コンテスト第30回の入選作品



松島 正子さん
『中世ヨーロッパにタイムスリップ!』



近藤 昭一さん
『香る梅の花』



田丸 博巳さん
『早春の歓び』

写真コンテスト第31回の入選作品



田丸 博巳さん
『古里の春』



斎藤 はるみさん
『雨後の枝垂れ桜・東郷寺山門』

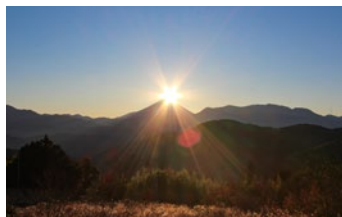


松村 巖さん
『梅まつり』

写真コンテスト第32回の入選作品



村野 幸夫さん
『甲斐駒ヶ岳の春』



佐野 正毅さん
『ダイヤモンド富士』



松村 巖さん
『東郷寺のシダレ桜』

写真コンテスト第33回の入選作品



瀬谷 周三さん
『初夏』



松村 巖さん
『レトロなポスト』



田丸 博巳さん
『春の小川』

小学生・高齢者 自転車競技大会が実施される



6月8日(土)午前9時から、市立第三中学校で小学生・高齢者自転車競技大会が実施されました。主催は府中市、府中警察署で、目的は自転車事故防止であり、自転車の乗り方と交通ルールを守ることです。

対象は、市内の小中学生、シニアクラブの会員、当シルバーの会員であり、小学生11チーム、高齢者チームは7チームで、当センターからは2チームが参加しました。

競技内容(各6人)は、自転車安全走行の実技テスト、交通ルールの学科テストからなります。

当センターのチームの成績は、団体ではBチームが第4位、Aチームが第6位で、個人では見事に伊藤茂茂会員が第3位、溝口猛会員が第6位に入賞しました。

地域班長会議が開催される

6月3日(月)午前10時から、地域班長会議がふれあい会館で開催されました。

まず松井会長より、今年の総会の会場が府中の森芸術劇場からバルトホールへ変更になることや、今年の秋に施行されるフリーランス新法に関するお話がありました。

続いて、「第75回定時社員総会議案等」の説明になり、「招集のご案内」の配布冊子をもとに、資料を読み合わせしました。内容は、事業の実施報告、令和5年度計算書類等の説明が中心で、班長さんは皆熱心にメモをとりながら、真剣に話を傾けていました。

その後、質疑応答・情報交換はなく、総会の会場変更について改めて注意があり、結びに班長さんへの労いの言葉をもって、1時間ほどの会議は終了しました。



9月開始 **Smile to Smile**
会員向け専用サイト

スマートフォン・パソコンから
情報が見られる**便利なサイト**

お知らせ

就業情報

配分金明細

利用するには登録が必要

今年8月中旬に「ログインID・パスワード通知書」を全会員に郵送します。

前号の訂正とお詫び

ふれあい第181号の「住吉地域懇談会」の開催日が3月12日(火)のところ3月6日(水)と誤って掲載しました。訂正しお詫びします。

行事予定

- 8月3～4日 府中市商工まつり
- 8月7日 健康ボウリング大会
- 8月21日 市長と役員懇談会
- 9月8日 秋の交通安全パレード
- 10月7日 市民向け植木剪定講習会

訃報

戸邊 雄一郎 (幸町)
中村 保 (北山町)
神崎 潔 (紅葉丘)
慎んでお悔やみ申しあげます

編集後記

暑中お見舞い申し上げます。本紙の創刊は、昭和53年10月に「事業団だより」(現「ふれあい」)として発刊されました。当時、センター会長の一ノ瀬利喜夫氏が「発刊のことは」を寄稿しています(以下、抜粋)。「本事業団(昭和52年7月設立)も漸く軌道に乗り、当初計画を上回る実績で、会員7百余人の協力で感謝しております。機関紙を通し、活動、消息、内容等々を知る唯一の贈物となることを自負して止みません」と綴りました。末尾に「働きし金受く老いの笑し顔並びてそとと袋を覗く」と一首を添えています。皆様のお愛読により、発刊時の趣旨を受け継ぐことができ、感謝しております。

今号の「元氣な班長さん」では、メール配布時に会員からの「ありがと」の声が励みになるとの心温まる寄稿がありました。ご一読をお勧めいたします。

(総務委員長 佐藤)

